

科目名	数学Ⅰ	単位数	2単位	学科・学年	全科	1年
使用教科書	最新数学Ⅰ 数研出版			副教材等	Study-Upノート 数学Ⅰ 数研出版	
学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)数と式及び二次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
学習評価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	① 知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。				
	② 思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。				
	③ 主体的に学習に取り組む態度	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
	 Descartes	評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況観察	○	○	◎	学習態度や状況を観察
課題提出		◎	◎	◎	副教材、プリント等	
ペーパーテスト		◎	◎	○	小テスト、定期考査	
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	数学の学習はピラミッド型で積み上げ式になっており、基礎学力を身につけ、前時までの内容が十分に理解できていないと、次の授業の内容は理解しにくくなります。教科書もそのような主旨で編成されていますので、毎日の予習・復習を必ずする必要があります。 数学Ⅰでは、「数と式」で基本的なことについて学びます。その基礎計算をしっかりと身につけ、「二次関数」の学習へと進むことができるようにしてください。そのためには、毎時間の内容をしっかりと復習しましょう。					

学期	月	学習内容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1	4	第1章 数と式 第1節 数と式	13	・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 ・問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。	学習状況観察 課題提出 小テスト 中間考査
	5				
	6		11	・数を無理数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則演算をすること。 ・問題を解決する際に、すでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。	学習状況観察 課題提出 小テスト 期末考査
	7				
2	9	第2節 一次不等式	13	・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 ・不等式の性質を基に一次不等式を問題解決に活用すること。	学習状況観察 課題提出 小テスト 中間考査
	10				
	11	第3章 二次関数 第1節 二次関数とグラフ	13	・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 ・二次関数の最大値や最小値を求めること。 ・二次関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。	学習状況観察 課題提出 小テスト 期末考査
	12				
3	1	第2節 二次方程式と二次不等式	20	・二次方程式と二次関数の関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 ・二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象など数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。	学習状況観察 課題提出 小テスト 学年末考査
	2				
	3				